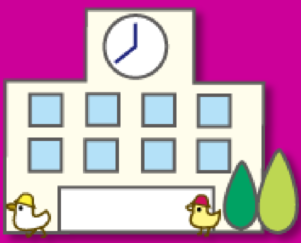

教育事情

ガーナ
BOP層実態調査レポート

教育制度

ガーナは、就学前教育（2年間）、初等教育（日本の小学校に相当、6年間）と中等教育（日本の中学校に相当、3年間）が基本教育となっており、引き続き後期中等教育（日本の高等学校に相当）が受けることができる。
その後の高等教育には、総合大学（4年制）、医科大学（7年制）、教員養成校（3年制）、ポリテクニック（3年制）があり、学校が少ないこともあり競争率が高い。
教育機関は、公立学校やキリスト教団体が設立した学校が主であるが、近年は、初等教育や中等教育において、私立学校が増えている。

校舎

就学状況

幼稚園の在園者数は、2010年度は約149万人であった。
初等学校の在学者数は、2010年度は約396万人で、6～11歳の人口に占める就学率は96.4%、中等学校は約134万人で79.6%の就学状況であった。

就学状況（2010/2011年）

	男子	女子	合計	就学率（GER）
幼稚園	749,764人	741,686人	1,491,450人	98.4%
初等学校	2,028,893人	1,933,886人	3,962,779人	96.4%
中等学校	707,847人	627,553人	1,335,400人	79.6%

出所：教育省　　GER:Gross Enrolment Rate

制服着用が一般的

JETRO
Copy rights(C) 2013 JETRO. All rights reserved.

教育事情 ガーナ

BOP層実態調査レポート

出張者が見たガーナ

首都アクラには1,000校以上の学校（初等～高等）がある。アクラには12地区あり、各地区に約56校ある。公立の初等～中等教育は無料で受けられる。
インタビューを行ったのはALAJO Primary Schoolと言う名の公立初等学校で、550人の生徒が通っている。幼稚園生が125人、小学生が425人である。学校長は40～50代の女性で、同校には教師が21人いる。同校の教師は教育学位等の教員資格を有しているが、農村部の学校には教員資格のない教師も多くいるという。

学校は朝7時から午後2時半まで。初等教育では担任教師がすべての教科を担当クラスの生徒に教えるが、中等教育では科目ごとに教師がいる。初等教育でパソコンを教える授業もある。給食は政府によって支給される。給食は昼食というよりもブランチの位置づけにある。公立学校では生徒の親から資金を集めることができず、政府からの支給に頼るため、教材やパソコンの台数などはあまり充実していない。教材の選定はすべて政府が行う。他方、私立学校であればPTAミーティングなどで親から寄付を受け充実した教材を揃えられる。公立校の場合、教科書代や給食は無料である。金銭的に余裕がある家庭は私立学校に子どもを入れている。

生徒

下校

国立職業訓練校は人材開発雇用省が管轄しており、全国に33校、アクラには5校ある。アクラ市内の国立職業訓練校はそれぞれ異なった分野・科目を提供している。料理・ケータリングや、縫製分野などもある。
インタビューを行った国立職業訓練校の一つ建設機械・機械学訓練校は4年制で、2年目と3年目はそれぞれ6ヶ月間のOJT実習があり、政府機関や民間企業で訓練を積む機会がある。国立の職業訓練校は4年制で統一されている。生徒は約150名で、分野柄、男子生徒が多数を占める。科目は、機械工学、自動車・電機、大型機械（農業機械他）、溶接、小部品製造などである。
学費は年間450セディ（約18,500円、2012年10月時点）。分割払いもできるが、1年目は一括払いが必要である。生徒の多くは卒業までに学費を払いきれず、卒業証書と引き換えに学費を払い終えるケースが多いという。

建設機械・機械学訓練校　概観

自動車整備訓練の様子

授業の様子

建設機械・機械学訓練校　内部

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

Copy rights(C) 2012 JETRO. All rights reserved.